

どこでも写真管理 Plus⁺

どこでも写真管理 Plus 出来形計測 (Android 版) 操作手順書

(CIMPHONY Plus 使用時)

EX-TREND武蔵の出来形管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、実測値の計測と出来形写真の撮影をおこなう手順を解説します。

※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

※CIMPHONY Plus 連携ツール：2022/2/24版で解説しています。

インストールするには、FCアカウントの個別ダウンロードを行ってください。

目次

どこでも写真管理Plus 出来形計測（Android版） 操作手順（CIMPHONY Plus使用時）

1. どこでも写真管理Plus 出来形計測の概要	1
1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について	1
2. 出来形管理からどこでも写真管理Plusに 工種分類を転送する	2
2-1 工種分類を作成する	2
2-2 転送先の工事データを作成する	4
2-3 工種分類をCIMPHONY Plusに転送する	5
3. どこでも写真管理Plusで 出来形データを入力する	9
3-1 CIMPHONY Plusから工種分類を取り込む	9
3-2 実測値を入力する	11
3-3 出来形写真を撮影する	13
3-4 入力した出来形データを確認する	15
4. 入力した出来形データを 出来形管理に取り込む	16
4-1 出来形データをCIMPHONY Plusへ送信する	16
4-2 出来形写真をCIMPHONY Plusへ送信する	18
4-3 CIMPHONY Plusから出来形データを取り込む	20
4-4 CIMPHONY Plusから出来形写真を取り込む	23

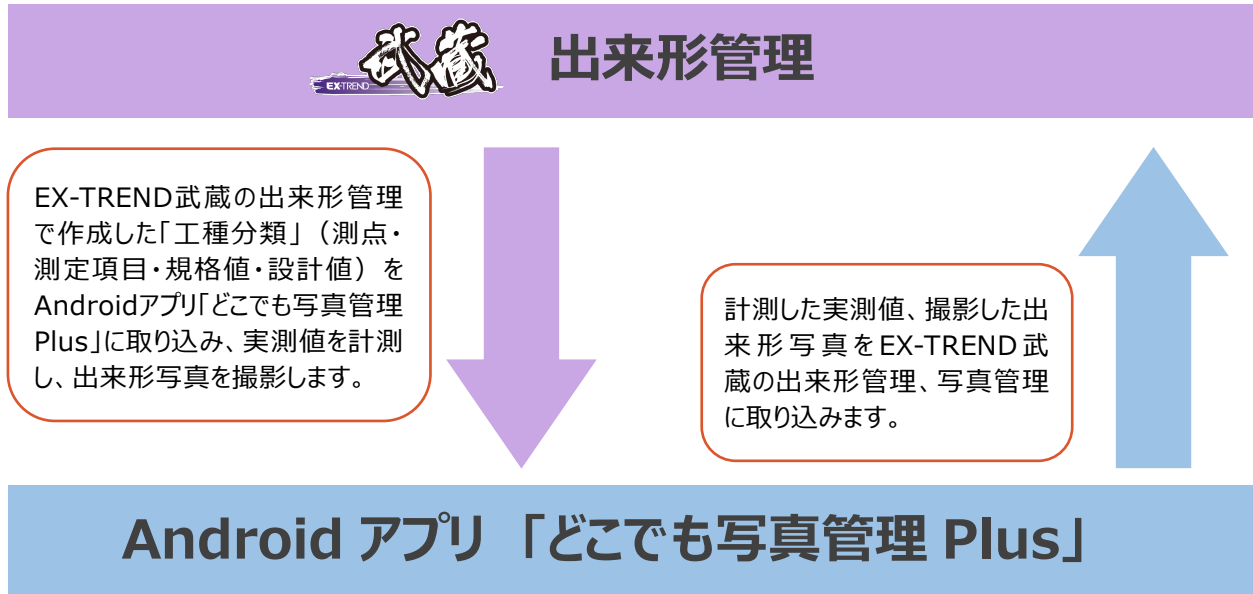
1

どこでも写真管理 Plus 出来形計測の概要

「どこでも写真管理Plus」とは、電子小黒板機能付き工事写真撮影アプリです。
また、アプリ上で出来形実測値の直接入力も可能です。

本書では、EX-TREND武蔵の出来形管理、Androidアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

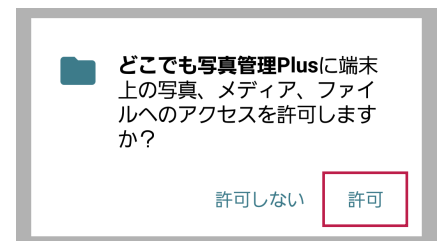
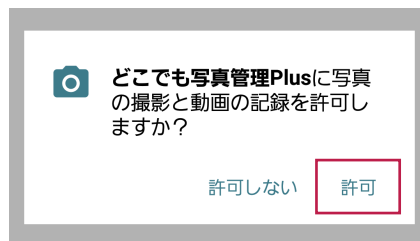
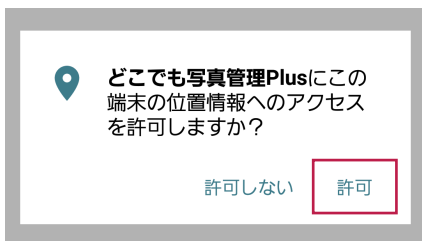
※CIMPHONY Plusを使用する場合は【CIMPHONY Plus】のご契約が別途必要になります。



1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について

スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動した時に、各種動作の許可を求める画面が表示される場合があります。
この画面では、すべて「許可」を選択します。

【画面例】



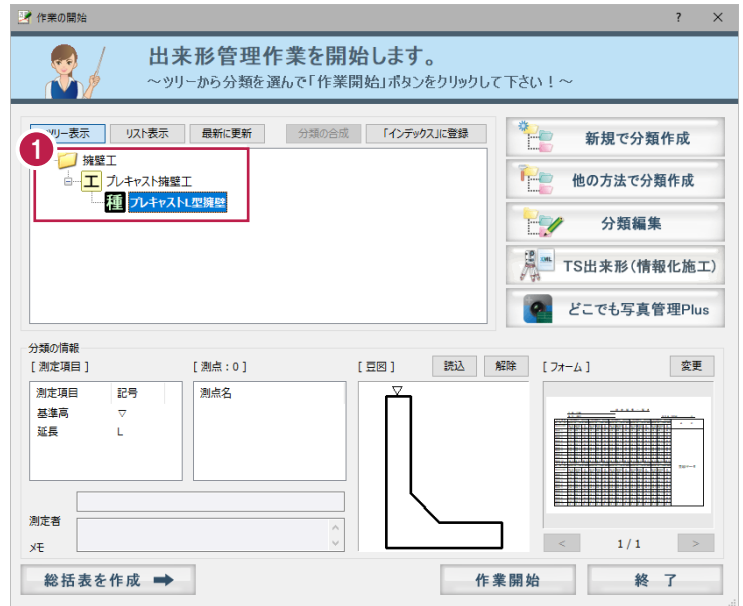
2

出来形管理からどこでも写真管理 Plus に 工種分類を転送する

2-1 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵の出来形管理で工種分類を作成し、「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定しておきます。

- 1 出来形管理で工種分類を作成します。

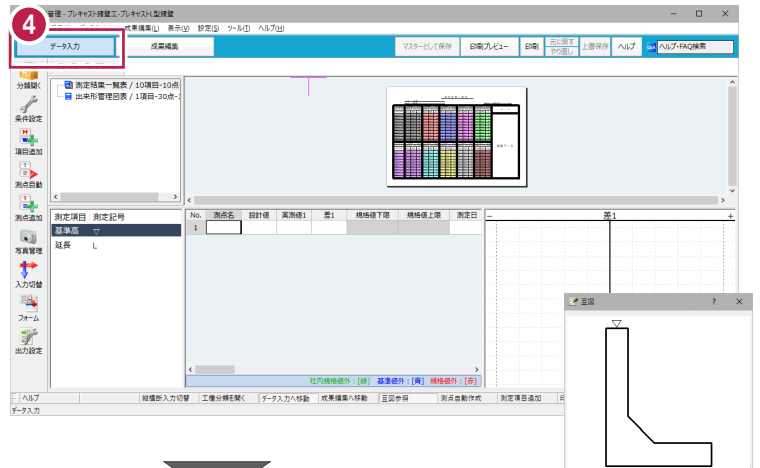


- 2 作成した工種分類を選択します。

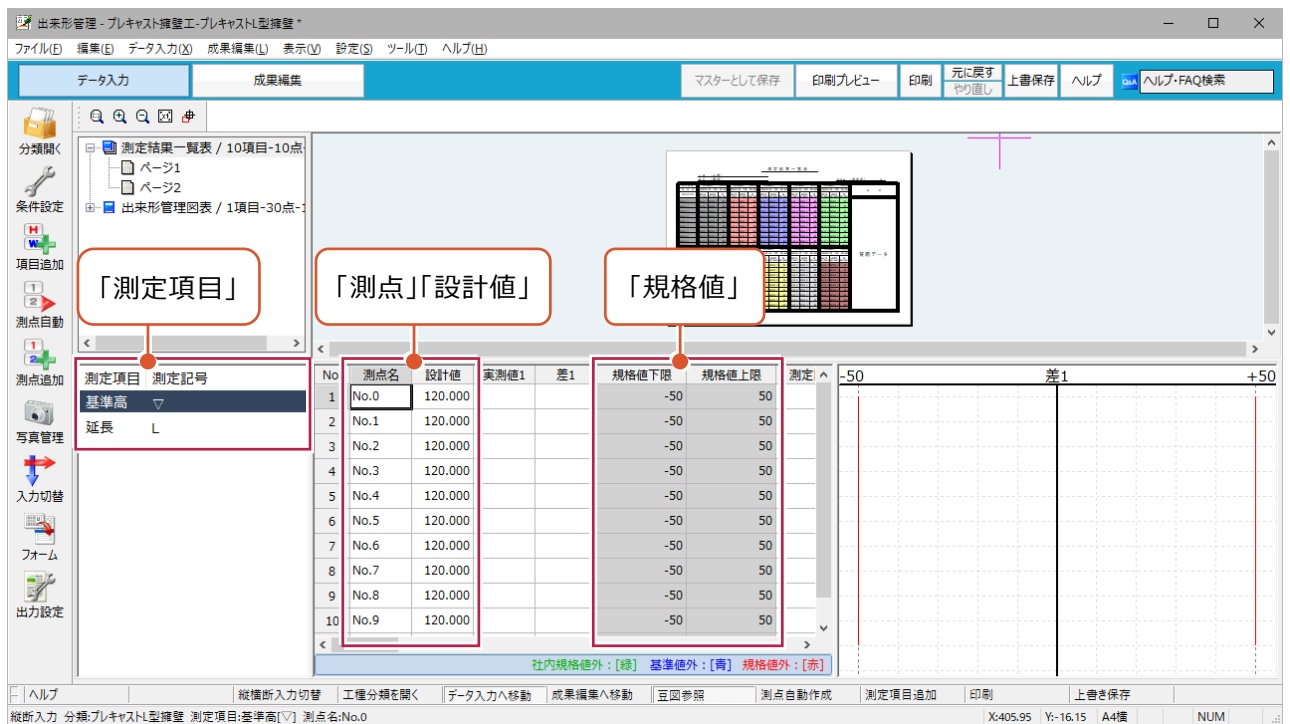
- 3 「作業開始」をクリックします。



4 [データ入力] ステージが表示されます。

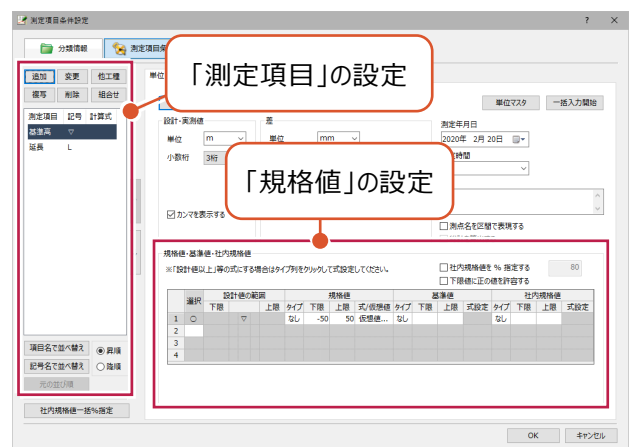
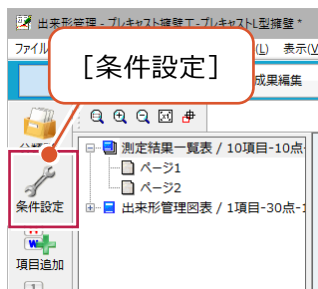


5 「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定します。



補足 「測定項目」「規格値」を設定するには

「測定項目」と「規格値」の設定は、
[条件設定] コマンドでおこないます。



2-2 転送先の工事データを作成する

あらかじめスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」で、工種分類の転送先となる工事データを作成しておきます。

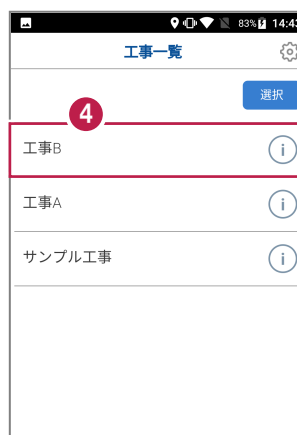
- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動し、[工事新規作成]（+マーク）をタップします。



- 2 [工事名称] など工事の情報を入力します。
- 3 入力を終わったら、[工事一覧] をタップします。



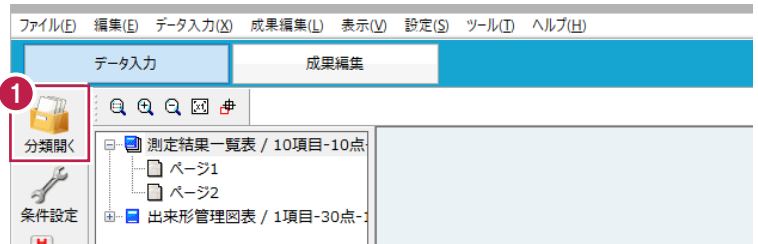
- 4 工事一覧に戻ります。
工種分類の転送先の工事が作成されていることを確認します。



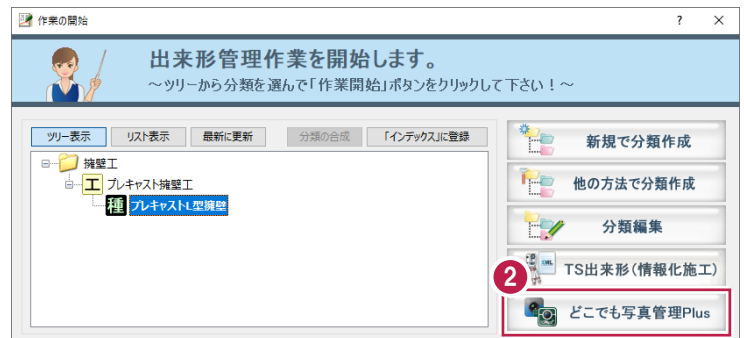
2-3 CIMPHONY Plusを使って工種分類を転送する

CIMPHONY Plusを利用し、インターネット経由でPCの工種分類をスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」に転送します。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[分類開く] をクリックします。

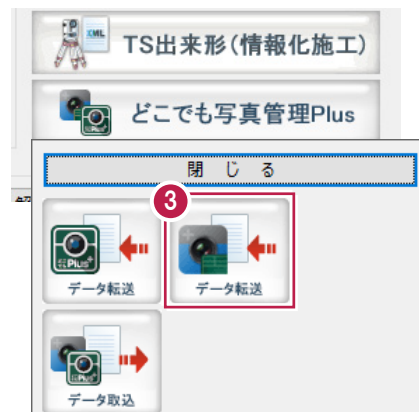


- 2 [どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



- 3 [データ転送] (右側) をクリックします。

データを転送するには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。



- 4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択
します。

- 5 [OK] をクリックします。



⑥ 転送する工種分類のチェックをオンにします。

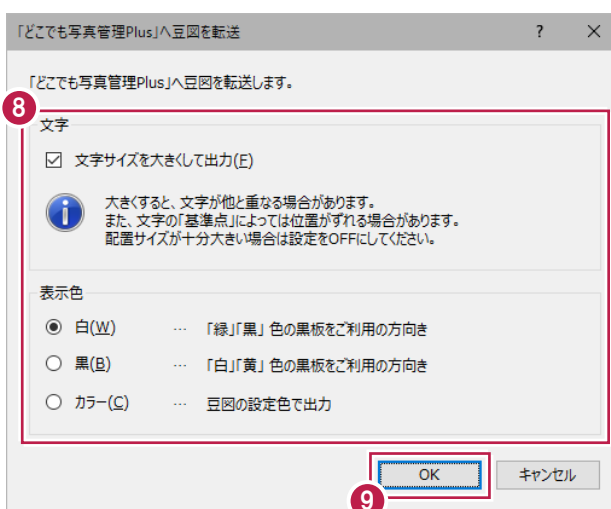
⑦ [OK] をクリックします。



⑧ 豆図の文字、表示色を設定します。

⑨ [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。



⑩ メールアドレスとパスワードを入力します。

⑪ [ログイン] をクリックします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

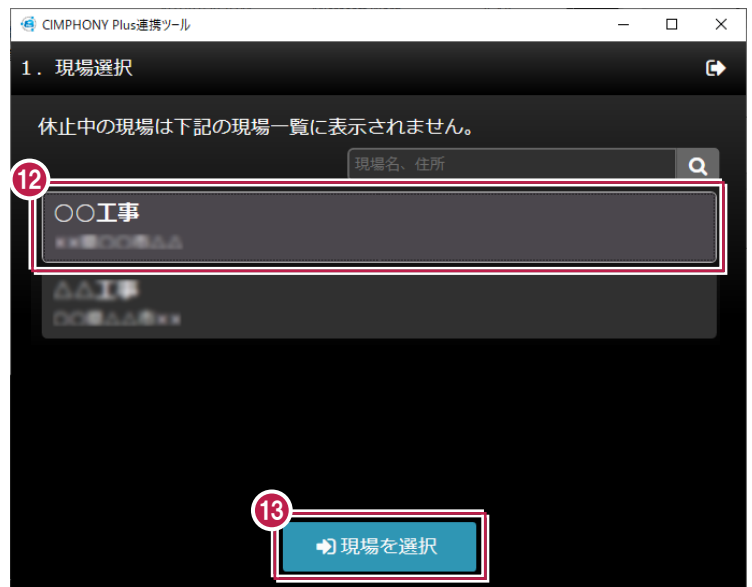


12 現場を選択します。

13 [現場を選択] をクリックします。

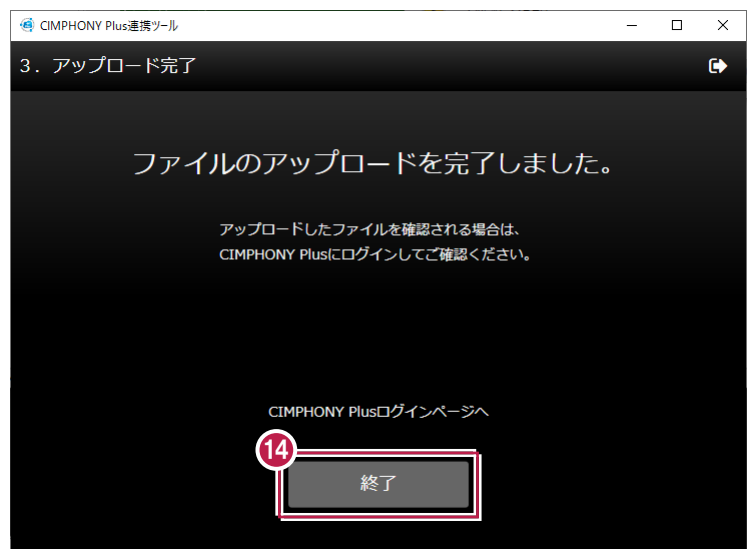
※CIMPHONY Plus であらかじめ現場を作成しておいてください。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。



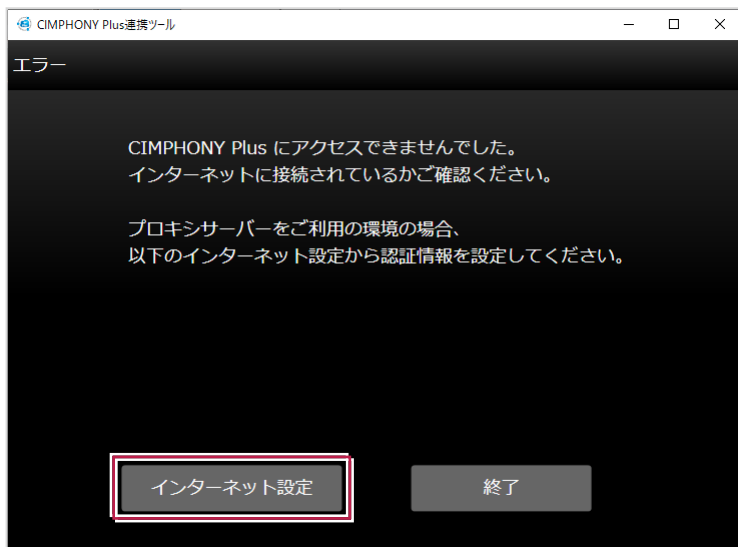
14 [終了] をクリックします。

以上で工種分類の転送は完了です。



補足 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

3

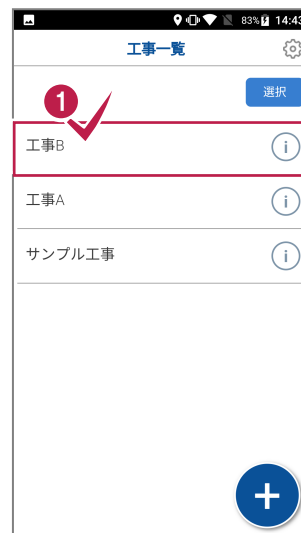
どこでも写真管理 Plus で出来形データを入力する

Androidアプリ「どこでも写真管理Plus」で、出来形管理から転送した工種分類に出来形データを入力します。

3-1 CIMPHONY Plusから工種分類を取り込む

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動します。

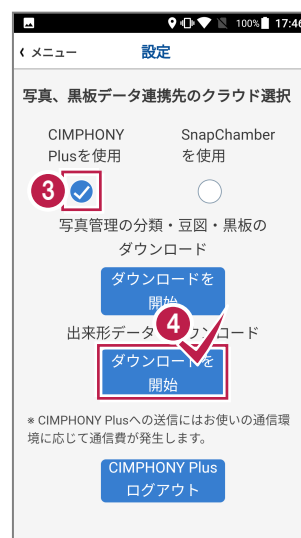
工種分類を取り込む工事をタップします。



- 2 [クラウド] アイコンをタップします。

- 3 [CIMPHONY Plus を使用] を選択します。

- 4 [出来形データのダウンロード] の [ダウンロードを開始] をタップします。




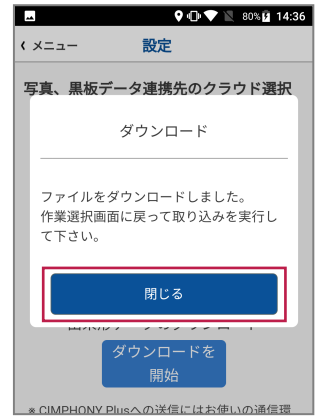
- 5 CIMPHONY Plus のログイン画面が開きます。

[メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

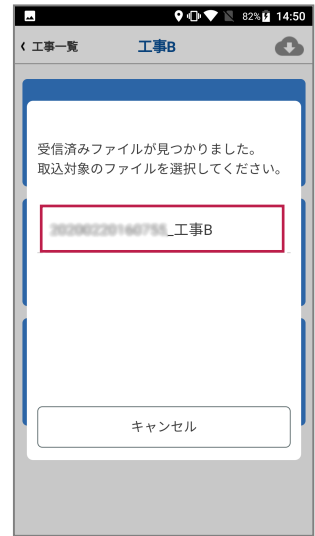
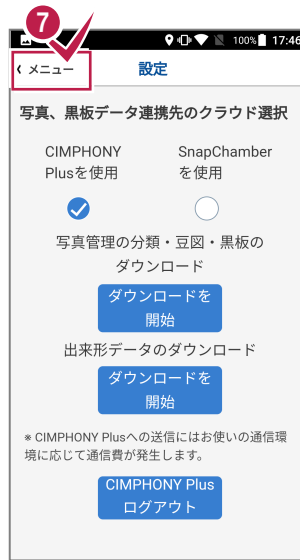


- ⑥ 出来形管理から工種分類を転送した、CIMPHONY Plus の現場をタップします。
 ※工期終了した現場は表示されません。
 ダウンロードを終えたら、[閉じる] をクリックします。

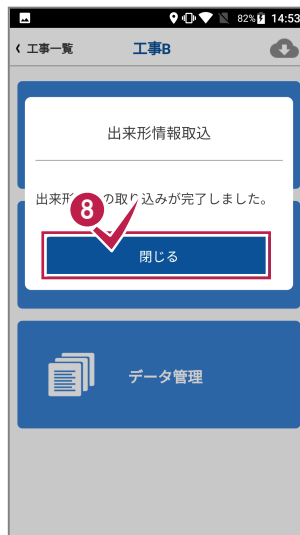
補足 待機状態が長く続く場合
 回線などの問題でダウンロードが完了しない場合は、一旦 [メニュー] をタップして戻り、再度 [クラウド] の [ダウンロードを開始] をタップしてください。

- ⑦ [メニュー] をタップして戻ります。
 「受信済みファイルが見つかりました。～」と表示されます。
 取り込むデータをタップします。



- ⑧ 取り込みが完了したら [閉じる] をタップします。



3-2 実測値を入力する

- 1 [出来形計測] をタップします。
取り込んだ工種分類が表示されます。



- 2 実測値を計測する工種分類をタップします。
出来形画面が表示されます。



- 3 計測する [測点] と [測定項目] をタップして選択します。

- 4 実測値を計測して、値を入力します。



5 黒板画面の任意の箇所をタップして、出来形画面に戻ります。

6 「差」が表示されます。

同様の手順で [測点] と [測定項目] を選択し、他の箇所の実測値の入力をおこないます。



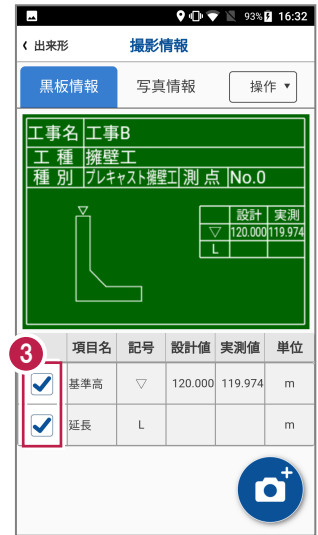
補足 測定項目の切り替えは、画面フリックでも可能です

画面を左右にフリックすると、測定項目が切り替わります。

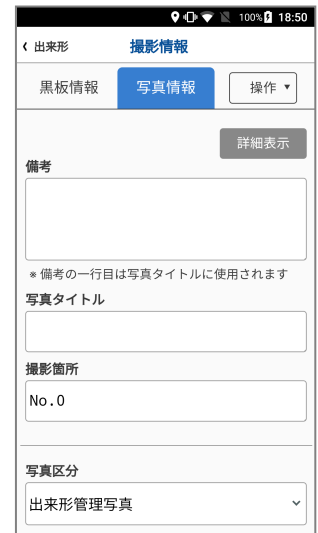


3-3 出来形写真を撮影する

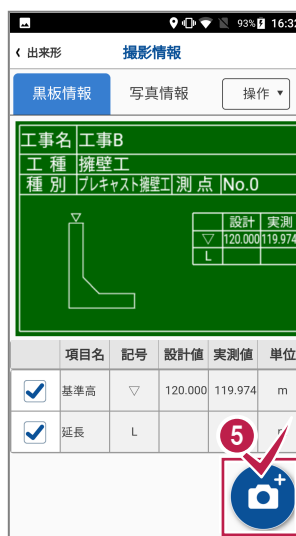
- 1 出来形写真を撮影します。
写真を撮影する [測点] を選択します。
- 2 [出来形写真撮影] をタップします。
撮影情報画面が表示されます。
- 3 黑板に反映する測定項目のチェックをオンにします。



- 4 [黑板情報] タブと [写真情報] タブをタップして、黑板情報と写真情報をそれぞれ確認します。
現場で入力する項目がある場合は、ここで入力します。



- 5 写真を撮影します。[黑板情報] タブの [撮影] (カメラマーク) をタップします。
カメラが起動します。



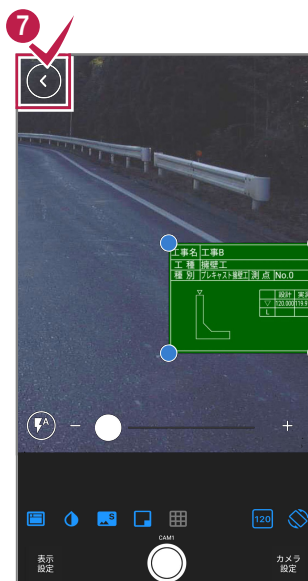
6 黒板の位置はドラッグして移動できます。

黒板のサイズは黒板の四隅の「○」をドラッグして変更できます。

黒板の位置とサイズが決まったら、[撮影] ボタン (◎) をタップして写真を撮影します。



7 撮影を終えたら、カメラ左上の「戻る」ボタンで撮影情報画面に戻ります。



8 左上の「出来形」をタップして出来形画面に戻ります。

同様の手順で [測点] を選択し、他の箇所の出来形写真の撮影をおこないます。



3-4 入力した出来形データを確認する

- ① 工種一覧に戻り、[結果一覧] をタップします。

各測点の測定項目と設計値、実測値が表示されるので、確認します。



項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m

- ② 出来形写真を撮影した場合は写真のアイコンが表示されるので、タップして確認します。

写真の確認を終えたら、左上の[結果一覧]をタップして結果一覧画面に戻ります。

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m



- ③ 結果一覧の確認を終えたら、左上の[工種一覧] [メニュー] [工事一覧] とタップして、工事一覧画面まで戻ります。

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m



4

入力した出来形データを出来形管理に取り込む

どこでも写真管理Plusで入力した出来形データを、EX-TREND武蔵の出来形管理で取り込みます。

4-1 出来形データをCIMPHONY Plusへ送信する

「どこでも写真管理Plus」で計測した出来形データを、CIMPHONY Plusに送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、出来形を計測した工事をタップして開きます。

② [出来形計測] をタップします。

③ 工種分類が表示されます。
[選択] をタップします。



4 CIMPHONY Plus に送信する工種分類をタップして、チェックマークを表示します。

5 [出力] をタップします。

6 [CIMPHONY Plus へ送信] をタップします。

補足 [SnapChamber へ送信] と表示される場合は
工事一覧に戻って、[クラウド] をタップし、
[CIMPHONY Plusを使用] を選択してください。

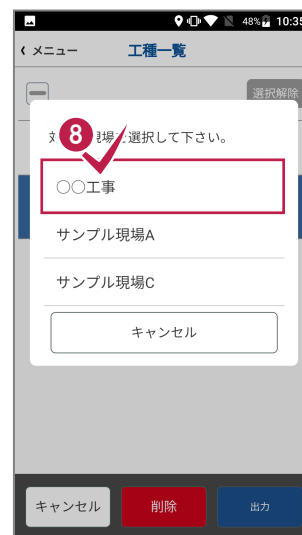


7 [OK] をタップします。

8 出来形データの送信先の CIMPHONY Plus の現場を選択します。

※工期終了した現場は表示されません。

9 送信が完了したら [閉じる] をタップします。



4-2 出来形写真をCIMPHONY Plusへ送信する

「どこでも写真管理Plus」で撮影した出来形写真を、CIMPHONY Plusに送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、出来形を計測した工事をタップして開きます。

② [データ管理] をタップします。



③ 撮影した出来形写真が表示されます。
[全選択] をタップします。

④ [全選択] をクリックします。



⑤ 送信される写真にチェックマークが表示されます。
[CIMPHONY Plus へ送信] をタップします。

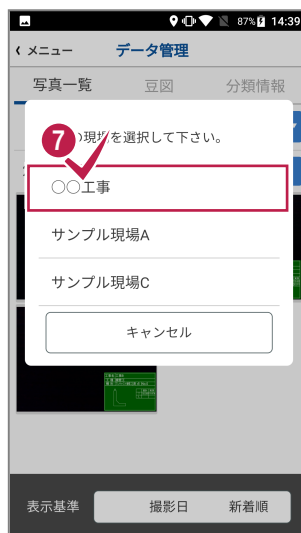
⑥ [OK] をタップします。



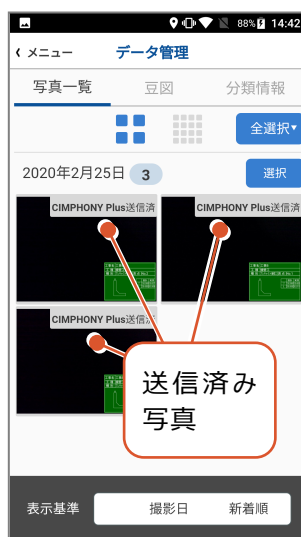
7 写真の送信先の CIMPHONY Plus の現場を選択します。

※工期終了した現場は表示されません。

送信が完了したら [閉じる] をタップします。



8 写真が「CIMPHONY Plus 送信済」になります。



補足 送信が失敗する場合

回線の状態により、送信が失敗する場合があります。その場合は、送信する写真の枚数を減らして、再度送信をおこなってください。

補足 同名のファイルを登録済みの場合

CIMPHONY Plusに同名のファイルが存在する場合、ファイル名末尾に連番が付記されます。

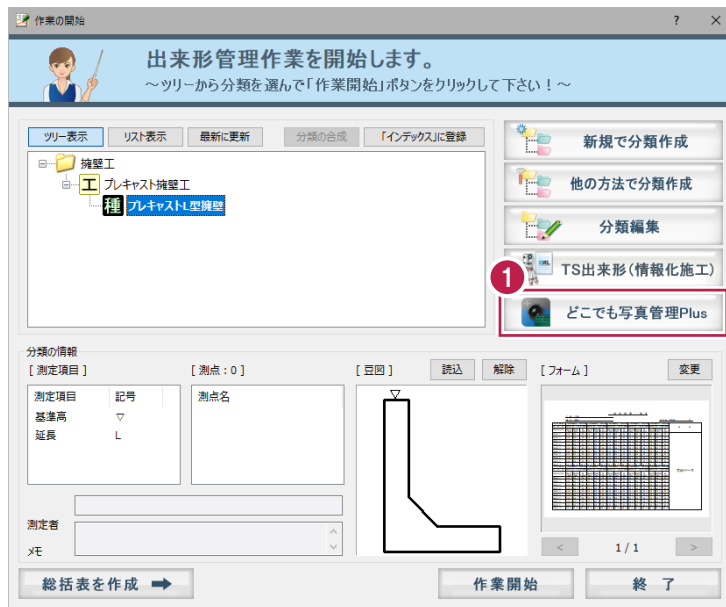
例) 「ファイル名-(1).jpg」

※自動リネームによりファイル名が100文字を超える場合はファイル登録されません。

4-3 CIMPHONY Plusから出来形データを取り込む

CIMPHONY PlusからEX-TREND武蔵の出来形管理に、出来形データを取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



- 2 [データ取込] をクリックします。

データを取り込むには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。

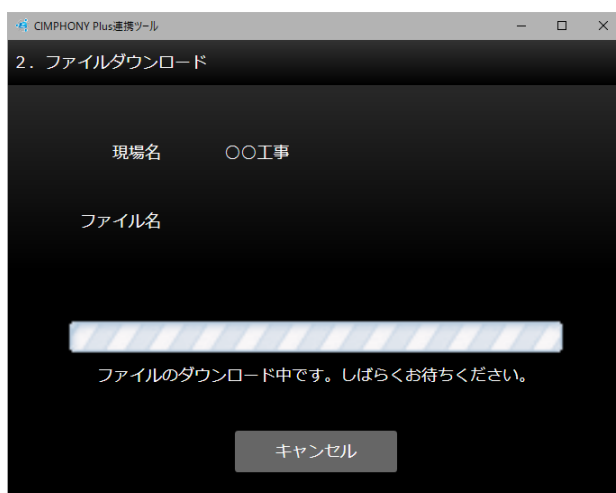
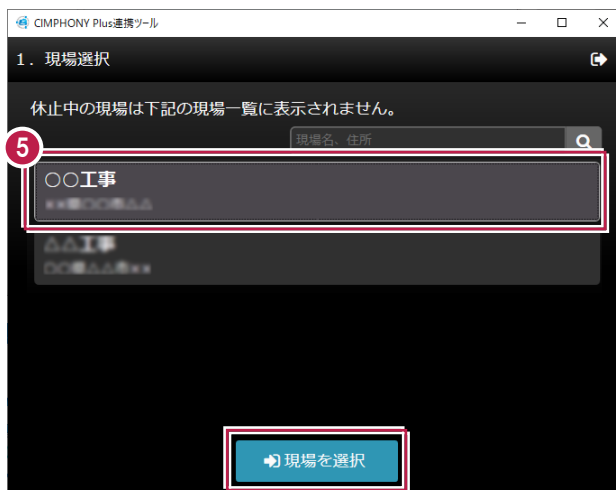


- 3 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択
します。

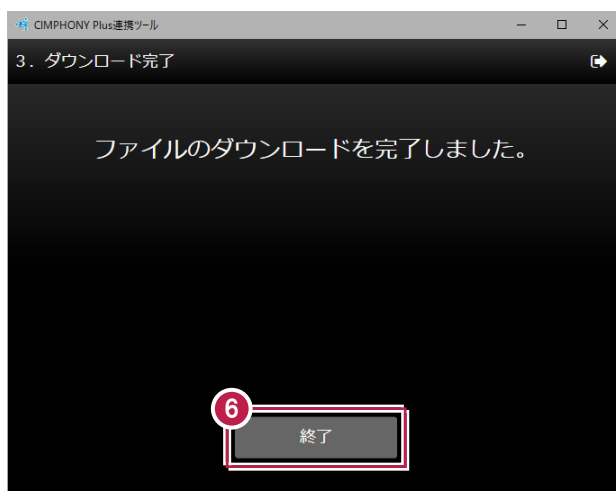
- 4 [OK] をクリックします。



- 5 どこでも写真管理 Plus から出来形データを送信した現場を選択し、[現場を選択] をクリックします。



- 6 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。

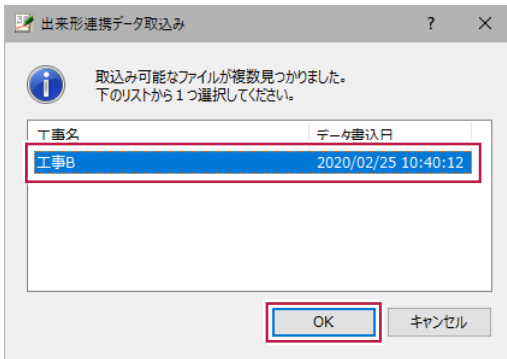


7 取り込む工種分類のチェックをオンにします。

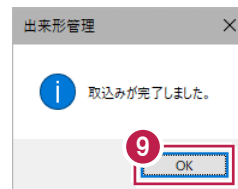
8 [OK] をクリックします。



出来形連携データ取込みダイアログが表示された場合は、取り込む出来形データを選択して [OK] をクリック後に、操作してください。

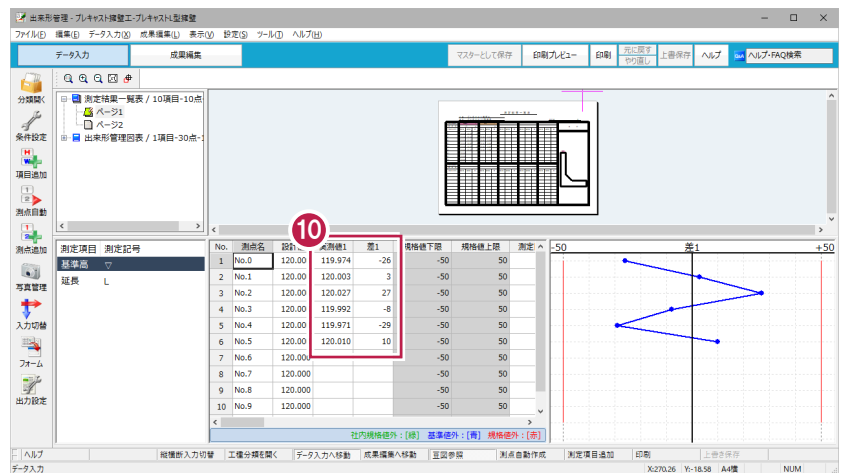


9 取り込みが完了したら [OK] をクリックします。



10 どこでも写真管理 Plus で計測した出来形データが取り込まれます。

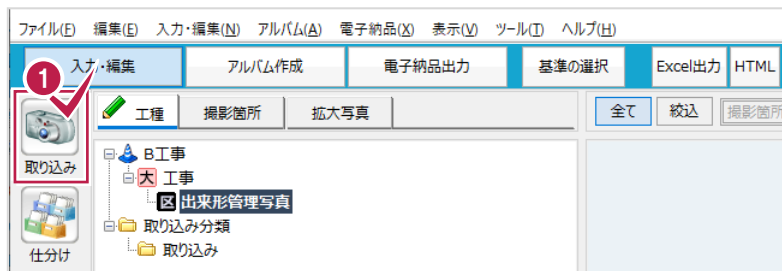
以上で出来形データの取り込みは完了です。



4-4 CIMPHONY Plusから出来形写真を取り込む

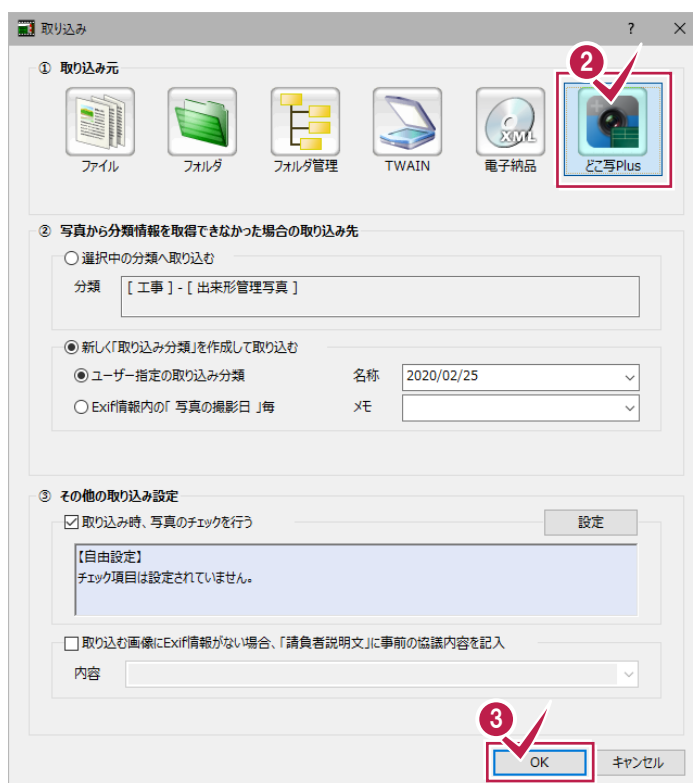
CIMPHONY PlusからEX-TREND武蔵の写真管理に、出来形写真を取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



- 2 [どこ写 Plus] をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。

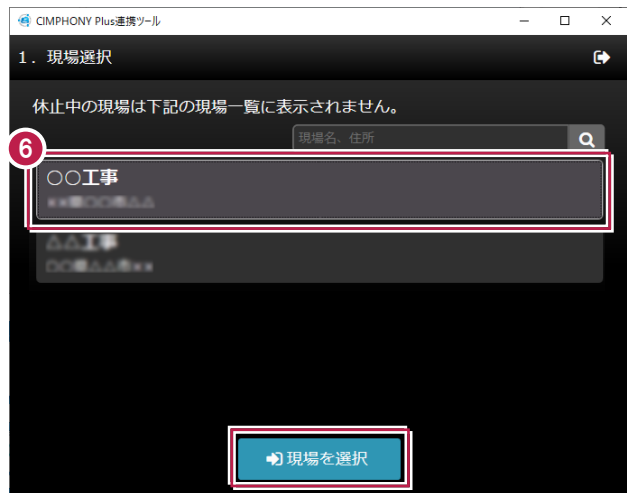


- 4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。



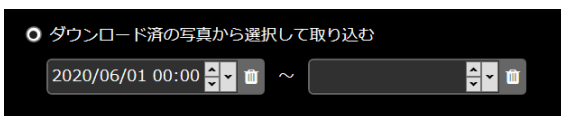
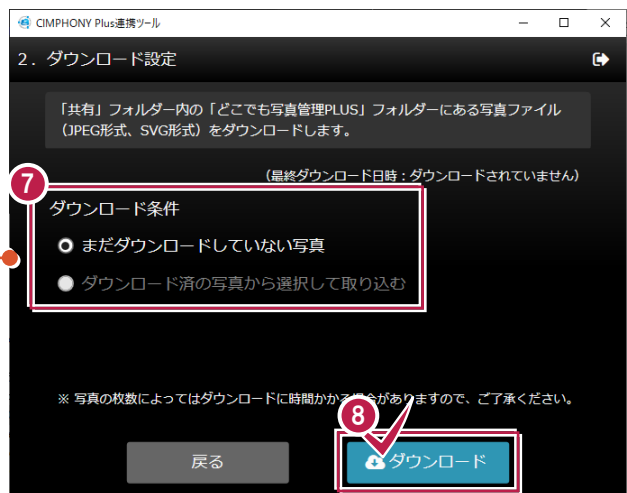
- 6 どこでも写真管理 Plus から出来形写真を送信した現場を選択し、[現場を選択] をクリックします。



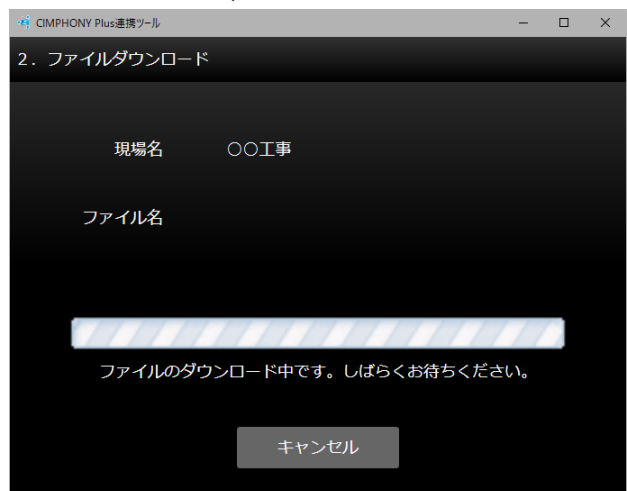
- 7 [ダウンロード条件] を選択します。

- 8 [ダウンロード] をクリックします。

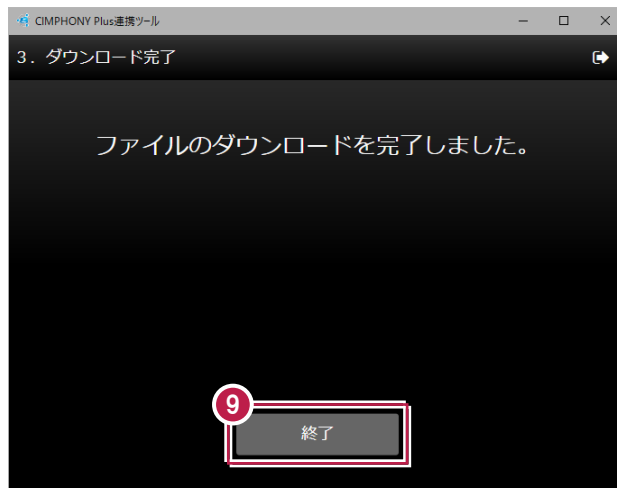
- [まだダウンロードしていない写真] を選択すると、CIMPAPHONY Plusから一度もダウンロードされたことのない写真のみ取り込みます。
(CIMPAPHONY Plusのユーザーが一度でもダウンロードした写真は「ダウンロード済み」として扱われます。)
- [ダウンロード済の写真から選択して取り込む] を選択すると、撮影期間を指定して過去にダウンロードした写真の中から選択して取り込むことができます。誤って削除した写真を再度取り込みたい場合や、他のユーザーがダウンロード済みの写真を取り込みたい場合などに使用してください。



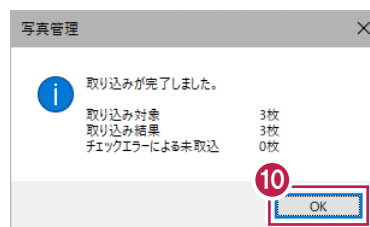
※写真の上にマウスを移動すると、ファイル情報が確認できます。



9 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。

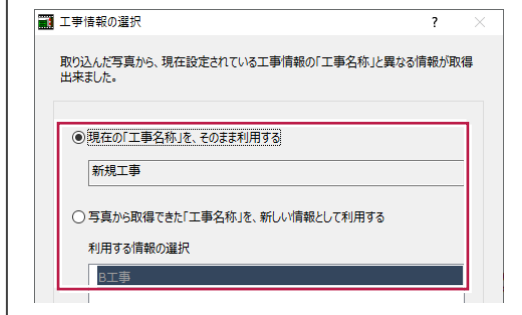


10 取り込み完了のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。



補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



11 出来形写真が取り込まれます。

以上で出来形写真の取り込みは完了です。

